

岩手県福祉サービス第三者評価の結果

1 第三者評価機関

名 称	社会福祉法人 岩手県社会福祉協議会	認証番号	第 2 号
所在地	盛岡市三本柳 8-1-3	評価実施期間	平成 23 年 12 月 1 日～平成 24 年 3 月 28 日

2 事業者情報

事業者名称（施設名）：福岡隣保館保育園	種別：保育所
代表者氏名：理事長 黒沢 智明 管 理 者：園長 黒沢 克子	開設年月日 昭和 50 年 10 月 1 日
設置主体：社会福祉法人 福岡隣保館福祉会 経営主体：社会福祉法人 福岡隣保館福祉会	定員（利用人員） 90 名：本園 60 名、第一分園 30 名
法人所在地：二戸市福岡字上平 27 TEL：0195-23-2530 FAX：0195-25-5956 事業所：二戸市福岡字杉中 1-1 TEL：0195-23-3966 FAX：0195-23-2676	

3 総評

◇ 特に評価の高い点

○地域交流の積極的な取組

子どもが地域の人々と交流を持つことは社会性を育むために大切なことと捉え、地域への働きかけを行っている。隣保館保育園では、園生活のハンドブックを作成し保護者に配布しており、理解を促している。

また、地域に向けては、イベントのポスターを町内各地に貼り出し、チラシの配布を行っている。地域の二戸まつり、トリコロールフェスタに参加し、地域社会の一員としての取組も行っている。

また、隣保館保育園では、地域ニーズにより保育体験利用サービスを実施しており、地域の理解を得るための積極的な取組がなされている。平成 22 年度の保育体験実績は延べ 280 名の利用があり、高く評価したい。

◇ 改善が求められる点

○安全管理への組織としての取組の強化

平成 23 年 2 月 28 日(平成 23 年 7 月 7 日改定)に安全管理マニュアル、保育マニュアル、事故発生時対応マニュアルが制定されているが、これらマニュアル類の制定以前は整備されていなかったため組織として十分な機能を果たすことが出来ていない。マニュアルが作成されても、短期間に十分な機能を確保するには無理がある。

マニュアルについての職員研修や訓練を十分に行うことが求められる。また、子どもの安全を脅かす事例を組織として収集しているが、要因分析と対応策の検討が十分ではない。特に事故報告については、組織の中にリスクマネジメント委員会を設置するなど組織全体での取組と、情報の共有化が求められる。

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

受審を決意する前は私たちの保育の取組が第三者にも高く評価して頂けると軽い気持ちでいました。また、一法人一施設の小さな組織ですので、求められる基準はそれほど高くないだろうと甘く考えていました。

受審に向けての具体的な作業に入った時、呆然としました。私たちの力のなさが明るみに出てきたのです。挫けそうになりましたが、浮き彫りになった課題を解決しなければよりよい保育ができないとの使命感に支えられ進んできました。自己評価の頃には「ここまでやればいいだろう」との思いも生まれてきました。

受審の結果が出ました。結果は終わりではなく、やっとスタートラインに立ったのだと私たちに自覚を促します。改善点は多項目に及びます。改善が自己満足にならないよう、再受審に向けて職員一同出発します。またよろしくお願いします。

5 各評価項目にかかる第三者評価結果 (別紙)